



羽越水害を語り継ぐ 大したもん蛇まつり



大蛇伝説と羽越水害をテーマに生まれた大したもん蛇まつり。羽越水害から50年の今年、9代目の大蛇が登場し、まつりも30回目を迎えました。

大雨の降る8月25日、水害殉難者供養祭で幕を開けた大したもん蛇まつり。

26日は、見る者に感動と興奮を与えた花火大会。子どもからお年寄りまで大勢が楽しんだ大盆踊り大会。

そして迎えた27日。最終日のこの日は世界一の大蛇が登場。約500人の担ぎ手たちによって命を吹き込まれた大蛇の姿に、沿道の観客からは拍手と歓声の嵐。さいたま市の昇天竜とともに大蛇が約8千人もの観客を魅了しました。

《特集》 第30回 えちごせきかわ大したもん蛇まつり

